

水産職 平成27年9月13日実施
専門考査の問題

問1 漁業法第6条第1項に規定される漁業権のうち、共同漁業権以外の2つの漁業権を記入しなさい。

また、漁業法第6条第5項第1号に規定される農林水産大臣の指定する定着性の水産動物を3つ記入しなさい。

(注) 漁業法第6条第5項第1号

第一種共同漁業 藻類、貝類又は農林水産大臣の指定する定着性の水産動物を目的とする漁業

問2 水産資源管理の手法を大きく分けると、インプットコントロール、テクニカルコントロール、アウトプットコントロールの3つに分類することができる。それぞれの手法について説明するとともに、手法の例を1つずつ記入しなさい。

問3 次の(1)から(5)は、海水の流動に関連する現象について説明したものである。(1)から(5)にあてはまる名称をそれぞれ記入しなさい。

- (1) 一様な風が一定で吹き続けた場合に起こる海面付近の流れであり、コリオリの力の作用で流れの向きは風下に対して北半球では右45度方向になる流れ
- (2) 異なる2つの水塊の境界
- (3) 東部太平洋赤道付近で表面海水温が上昇する現象
- (4) 河口付近とそれから遠く離れた地点の間で生じる圧力場の不均衡を解消するために、上層で沖向きに低塩分水が流れ、下層で岸向きに高塩分水が流入する密度流
- (5) 下層の海水がより上層に上昇する現象

問4 干潟を地形的特性に基づいて分類した場合の名称を3つ記入しなさい。
また、干潟の持つ役割の一つである水質浄化作用について説明しなさい。

問5 次の(1)から(6)について、あてはまるものを下の①から⑤より1つ選び、記入しなさい。

- (1) 次のプランクトンの中で貝毒原因種でないもの
①ギムノディニウム・カテナータム ②アレキサンドリウム・タマレンセ
③カレニア・ミキモトイ ④ディノフィシス・フォルティ
⑤アレキサンドリウム・カテネラ
- (2) 次の魚種の中でプランクトンを主食としないもの
①ワカサギ ②コノシロ ③カタクチイワシ ④ウバザメ ⑤ウミタナゴ
- (3) 次の魚種の中で卵が分離浮性卵でないもの
①クロダイ ②マコガレイ ③マイワシ ④ヒラメ ⑤ハモ
- (4) 次の魚種の中でスズキ目でないもの
①ブリ ②キジハタ ③ブルーギル ④スケトウダラ ⑤ブダイ
- (5) 次の海藻の中で、ガラモ場の構成種でないもの
①アカモク ②ウミトラノオ ③ワカメ ④タマハハキモク ⑤シダモク
- (6) 次の生物の中で軟体動物門でないもの
①マボヤ ②アメフラシ ③マガキ ④サザエ ⑤アオリイカ

問6 次の文章は、現在、資源状況が危惧されているニホンウナギをめぐる状況と対策について説明したものである。①から⑤にあてはまる語句を記入しなさい。

今後ともニホンウナギの持続的利用を確保していくためには、国内外での資源管理対策の推進が必要である。

国際的には、ニホンウナギを利用する日本、中国、韓国、が協議を重ね、平成26年9月の第7回協議において、ニホンウナギのを直近の数量から20%削減する等の内容を盛り込んだ共同声明を発出した。

国内における資源管理対策としては、平成27年6月1日からうなぎ養殖業を内水面漁業の振興に関する法律に基づく農林水産大臣の指定養殖業とし、農林水産大臣のを義務づけることにより、うなぎ養殖業における種苗のを制限することとした。

また、シラスウナギ採捕については、都道府県に対し、平成26年10月9日付水産庁長官名により、シラスウナギのの再点検や採捕数量の上限設定等についての措置を講じるとともに、産卵に向かうために河川から海に下る時期のウナギの採捕禁止又は自粛等の取組みに向けた関係者の話し合いを促進する旨の通知がなされた。

さらに、うなぎ種苗については、平成22年には卵から親魚まで育て、親魚から得た卵をふ化させるが成功するなど、シラスウナギの大量生産に向けた生産技術開発が進められている。

問7 下の(1)から(5)の種に発症する疾病について、あてはまるものを右のaからeより選び、記入しなさい。

- (1) トラフグ
- (2) ニジマス
- (3) キンギョ
- (4) クルマエビ
- (5) ウナギ

- | | |
|---|-----------------|
| a | 伝染性造血器壊死症 (IHN) |
| b | イエローヘッド病 |
| c | 粘液胞子虫性やせ病 |
| d | 立鱗病 |
| e | パラコロ病 |

問8 次の(1)から(5)の説明について、あてはまる名称をそれぞれ記入しなさい。

- (1) マグロ、カツオなどの赤身魚にきわめて多く含まれている遊離アミノ酸から脱炭酸酵素の働きによりつくられるアミンの一種で、アレルギー様食中毒の原因物質
- (2) 軟体動物の血リンパに存在するヘムタンパク質で、銅原子を含むため、酸素と結合すると青色を呈する物質
- (3) 熱帯海域から亜熱帯海域、特に、さんご礁海域に生息する魚類の摂食によって起こる致死率の低い食中毒
- (4) 消費者等が食品などの生産、加工、流通の履歴、適用又は所在を追跡できること
- (5) 食品の安全確保をはかるため原料の搬入から製造・出荷までの過程において、衛生上留意すべき重要ポイントを継続的に監視・記録する衛生管理システム

問9 次の文章は海区漁業調整委員会について説明したものである。①から⑥にあてはまる語句を記入しなさい。

海区漁業調整委員会は、海面及び海面として指定された などの湖沼について が定めた 64 海区に設置され、地方自治法に規定される都道府県に置かれる執行機関である。

委員会は、海区内の漁業者又は漁業従事者の中から公選により選ばれた委員、 がある者の中から都道府県知事が選任した委員、海区内の を代表すると認められる者の中から都道府県知事が選任した委員で構成される。

委員会は、その設置された海区の に関する事項を処理し、 事項、建議事項、決定（裁定・指示・認定）事項について広範な権限を有している。

問10 水産業・漁村が備える多面的な機能について、水産物の安定供給という本来的機能以外の機能の例を5つ記入しなさい。